
俺の彼氏

ネッシー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の彼氏

【著者名】

【作者名】
ネッシー

【NNマーク】

「N4580」

【あらすじ】

俺と、俺の彼氏。

普通の人と全く変わらない、普通の話。

俺もアイツも男だけど、好きになる気持ちは全く変わらないぜっ！

(前書き)

男同士の恋愛ですが、あえて警告無しにておせり頂きますm(_ _)

冬が終わる頃、

ずっと一人とも忙しい時期で、俺はテスト、アイツは就活、

なかなか会えない時期が続いてて、

やっと二人で空けた『デート』の約束

アイツは3つ年上の俺の彼氏

つて言つても夕飯と一緒に食べるだけなんだけど（笑）

で、約束10分前に約束の場所へ

彼「ゴメン！ 少し遅れる…！」

つてメールが届いたから、

俺「俺もちょっと遅れるから丁度ええわ」

つて返す。

こんなやり取りですら嬉しくて、多分ニヤけてたと思う（笑）

で、約束の時間10分後位に、

彼「ほんと遅れて、ゴメン（ゝ人ゝ・）」

つて彼到着

俺「俺も一度今来たところだから平気やで、じゃ、行くか。」

飲み屋入って、

ほんとたわいもない話しばっかして、

でもずっと話じとつて、ずっと笑つとつた。

で、食い終わつて、明日も忙しいから、帰つて話になつて、

俺「家まで送るわ」

つて言つたら

彼「い、いや、いいって×2！—そんな悪いし！—」

とか言つもんだから、

俺「そんなん俺のワガママなんやから」 たまには俺のワガママ

聞け』

つて無理せりけないとして、そしたら

彼「…あ、良つけや（＊＾＾＊）」

つて笑つもんだから、ホンマ可愛くてヤバい』

アイツんちまでの道で、人通りが少ない所があつて

俺らは、そんな堂々と手を繋げないもんだから、

そこで、ぜって一手え繋いだろって思つてて

で、アイツんちの最寄りの駅に着く。

彼「「ノンビ」寄つて良い? ?」

俺「ええよ、なんか買うん??」

で、外で待つてたら、

両手いっぱいに飲み物を抱えた彼が出てきた。

彼「俺いっぱい飲むんだよねーー！」

とか笑って言いながら… w

で、俺は

俺「あいつとお前貸せw 代わりにこれ持つとけw」

つて両手推定10キロの荷物とホツカイロを交換。

この時点で、俺の外で手を繋ぐ計画は脆くも崩れ去ったw

で、彼と荷物持ちは、また、たわいない話をして笑いながら、彼の家の前まで着く。

それで、どうしてもアイツに触りたかった俺は、

彼「荷物ありがとうな！！」

つて言われたから、両手のうちの方渡して。

俺「ちよい手貸してみ??」

ギュッ

：

俺
「：あつたけ」

彼「ホツカイロ持つてたからね」

⋮

そんな俺とアーティの普通のお話でしたww

} end

(後書き)

えーっと、実話ですw

書きたくなつて書いてしましたw

これで、ゲイに対する偏見とかが少しでも無くなつてくれたらな
思います(@・_・ノ)ノw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4580/>

俺の彼氏

2011年10月5日06時25分発行